



須田っ子

第25号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」 SA・SU・CA・DA

伝統

校長

卒業式が近付いてきました。卒業・進級を前に全校集会で話をしました。

6年生は、休み時間に1年生を中心に下級生とよく遊んでいます。1年生が6年生になったときに、きっと1年生と遊ぶ学年になると思います。遊び方は違うでしょうが、下級生と仲良くなり、下級生が楽しく休み時間を過ごせるようにという気持ちが引き継がれていくことなのでしょう。

須田小学校では5年生を中心に「6年生ありがとう週間」や「六送会」などで、6年生に感謝の気持ちを形にして伝えています。「感謝の気持ちを形にして伝える」ことも伝統として残されてきたのでしょうか。これからも、「ありがとう」のあふれる学校となるように、伝統を守っていただきたいと思います。



6年生と鬼ごっこ
1, 3, 4年生



6年生とソフトバレーボール
5年生



6年生と校内かくれんぼ
2年生



1年間取り組んできた「ありがとうの木」。子供たち一人一人が友達や下級生などに感謝の言葉を書き入れて完成しました。



ひまわり会の皆さんには1年間あいさつ運動をしていただきました。ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願いします。



調理場前の掲示板に
掲示されています

給食の献立を考えてくださる和田先生といつもおいしい給食をつくってくださる調理員さんに、全校を代表して、保健給食委員会の6年生から感謝のメッセージを贈りました。

感謝の気持ちを形に～六送会～

2月26日（金）に、5年生を中心とした在校生により、6年生を送る会が行われました。

6年生入場 一人一人がポーズを決めて入場しました



花のアーチと体育館の飾り付けは3年生が担当しました



5年生は、全体の進行やはじめの言葉、終わりの言葉、ひまわり班のゲームを担当しました



大いに盛り上がった間違い探し 右と左の写真で違うところは？

1, 2年生 語呂合わせとダンス



6年生のお兄さん、お姉さんが もう 卒業だなんて
おどろき ももの木 さんしょの木

4年生 6年生一人一人の名場面を劇にして紹介しました



6年生 人に親切にすることを大切にという願いを込めて、「いちご太郎」の劇をしました



ひまわり班から6年生へ感謝のメッセージが贈られました



6年生退場



上手に跳べるようになりました～なわ跳び大会～

12月からがんばりタイムで練習してきたなわ跳び。2月26日(金)に本番を迎えました。どのグループも最初の頃より回数を伸ばし、なかなかなわに入ることができなかつた子もタイミングよく入ることができるようになりました。



学校保健委員会報告

2月5日(金)、学校保健委員会を開催しました。

この会は、子供たちの健康づくり・体力向上・食育等について、学校・家庭・地域で話し合いを行うものですが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、学校保健委員会を学習参観後に放送で実施しました。学校職員からは学校での子供たちの様子、保護者の方々からは家庭での様子、活動へのご意見、ご感想をいただきました。



子供たちの様子

体力向上

- ・体力テストで総合判定A評価の児童は全体の約20%で前年度との比較で明らかな体力向上が認められた児童の割合は54%でした。
- ・種目別では「握力」、「長座体前屈」、「50m走」、「立ち幅跳び」で顕著な向上が見られました。
- ・児童アンケートは97.6%の児童が自分自身の体力向上を実感していると回答しました。

食生活

- ・給食の残量は全体で約2%です。給食を残すことがほとんどなく、しっかりと食べています。
- ・毎日の給食の様子から、苦手なものでも食べようとしている姿や、味わって食べようとしている姿がたくさん見られます。



生活習慣

- ・起床時刻はほとんどの児童が達成できました。
- ・就寝時刻やメディア時間については元気アップ週間1, 2回目と変化がないか、または減少する学年がありました。しかし、2回目に改善が見られた児童もいました。
- ・1, 3年生を対象に歯科衛生士による歯みがき教室を予定通り実施しました。

ご指導

【学校医先生から】

- ・メディアの長時間視聴が眼精疲労になり、視力低下やゲーム依存等を起こすことで全国的にも問題になってきている。
- ・今後も学校、家庭との連携を強化することが重要。
- ・学校では引き続き、元気アップ週間で生活習慣を見直すこと、規則正しい生活習慣を行うための保健指導を継続することが必要。
- ・家庭では子供とルールを決め、保護者はそれを守るように手助けをする。
- ・メディアをやめさせたい、どうしても使っている様子が見られる場合は、違う行動をやってみて、他にふりかえてみてはどうか。
- ・子供ヘルールを守るためには保護者自身もメディアの使い方に気を付けていただきたい。

保護者の方々からのご意見、ご感想

- ・元気アップ週間中は意識して生活していると思います。時間の使い方についてはヒマだと感じるとゲームを手にしてしまうように思うので、別の過ごし方についても考えていかないといけないと思っています。
- ・メディアの件で学校医からの「保護者もメディアの使い方を見直した方がいいのでは」の指摘は最もだと思い反省しました。
- ・家庭でルールを決め、それを守るように見守っているつもりですが、自分で時計を見て行動することがまだまだ難しく、根気強く声掛けや見守りを行っていきたいと思います。

これらのご意見、ご指導を踏まえ、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。